神戸市観光いちご狩り園

産地ならではの新鮮な甘さ！

神戸市の観光いちご狩り園が、今年も本格オープンした。産地のいちご狩り農園だからこそ味わえる、完熟いちごの新鮮な甘さを体験できる。

場所は、二郎農園（神戸市北区有野町二郎）▽大沢農園（同区大沢町上大沢）▽長尾農園（同区長尾町上津）▽上淡河農園（同区淡河町中山）▽細田農園（西区押部谷町細田）▽神出農園（同区神出町小東野）

細田農園は露地栽培のため５月上旬からのスタートで、６月上旬まで開園予定。入園料は大人（中学生以上）1900円、小学生1600円、子ども（３歳以上）1300円（５月６日以降は変更）。

「安心していちご狩りを楽しめるよう、新型コロナウイルス感染防止に努めつつ、来園をお待ちしています」と担当者。

摘みたてのいちごは、ほっぺも落ちちゃう甘さ

事前予約制。開園時間や入園料、各農園の詳細、空き状況などは、神戸市観光園芸協会のホームページ（http://www.kobe-kanko-engei.jp/）で確認の上、各農園へ直接申し込む。

六甲ガーデンテラス

ひつじのショーンとコラボ

「六甲ガーデンテラス」（神戸市灘区）では、５月29日まで「ひつじのショーンフェアｉｎ六甲ガーデンテラス」を開催中。３回目の今年は、エリア内に「ひつじのショーン」のキャラクターパネルを展示、アニメの中の１シーンを再現したフォトスポットなども設置している。

ショーンの特製紅茶ティラミス
（SHAUN THE SHEEP AND SHAUN' S IMAGE ARE ™ AARDMAN ANIMATIONS LTD. 2022）

期間中、レストランでは愛らしいコラボメニューを用意。オリジナルグッズを数多く取りそろえたポップアップショップも開設し、六甲ガーデンテラス限定のコラボ商品も並ぶ。

またエリア内では、小さな子どもたちも気軽に参加できるスタンプラリーを実施。「ひつじのショーン」の愉快なキャラクターに囲まれて、春の六甲山を満喫しよう！

六甲山蒸留所など

10周年記念の特別ツアー

六甲山の多彩な情報を発信する「六甲山大学」の10周年を記念し、六甲山蒸留所（神戸市灘区）＝**写真**＝の特別見学や六甲山サイレンスリゾート（同）で特製ランチを堪能するツアーを開催する。

ツアーでは六甲山蒸留所を完全に貸し切り、試飲などを楽しむ。六甲山サイレンスリゾートでは展望レストラン「空のダイニング」で、このツアーのみの限定ランチが振る舞われる。昼食後解散。

５月21日の午前10時、同11時、正午の３回、六甲山ビジターセンターに集合。定員は各回10人。参加者特典として３施設共通チケット（六甲高山植物園、ＲＯＫＫＯ森の音ミュージアム、六甲枝垂れ）をプレゼント。参加費3800円。

申し込みは神戸新聞旅行社の専用サイトから▼

神戸新聞旅行社☎078・362・7174

六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第４火曜日に掲載します）

根岸真理が案内　山の四季便り

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

「プラントハンターの庭」で世界探訪

収集された希少植物を楽しむ

「プラントハンター」という職業をご存じだろうか。薬草やスパイスなどの有用植物や、美しい花を探すため、未知なる世界を旅した冒険者たち。大航海時代のヨーロッパが起源で、19世紀初頭に日本を訪れたシーボルトもプラントハンターだった。

六甲高山植物園で育てられている植物も、プラントハンターによって発見されたものが少なくない。そこで、園内を「プラントハンターの庭」に見立て、世界中から集めてきた自慢のコレクションをスタンプラリー形式で巡るというイベントを開催している。

特製マップを片手に園内を巡ると、花のそばには解説看板がある。植物の説明のみならず、面白い小ネタが添えられているのが楽しかった。また、スポットを巡る間に、見ごろのほかの花も見つけられるよう、小さなポップがあちこちに置かれているのも心憎い配慮だ。

スタンプラリー形式で園内を巡るイベント「プラントハンターの庭」＝いずれも六甲高山植物園

登山が趣味の筆者は、高山植物などは自生地の山を訪れてこそ、と長年思ってきた。だが、六甲山の自然を生かし、誰もが気軽に希少な植物に出合えるこの植物園の価値を、改めて見直している。

ゆるやかに起伏する自然の地形を生かした園内は、今新緑が真っ盛り。これから見ごろを迎える植物もめじろ押しだ。一面にピンクの華やかな花を咲かせるクリンソウ、高山植物の女王と呼ばれるコマクサ、神秘的なヒマラヤの青いケシ……。一所でこれだけの花々に出合える自生地はない。六甲山地では激減しているササユリや、サギソウなどの希少植物が見られるのもうれしい。

コマクサ（左）とクリンソウ（右）。いずれも５月中旬ごろから（六甲高山植物園提供）

標高約860㍍の園内は、これから夏にかけて、手軽な避暑地としても楽しめるスポットになる。希少な六甲ブナの巨木が点在、涼しい木陰はとても快適だ。イベント期間中の土日祝日には、ナツツバキ広場にハンモックカフェも登場し、ゆったり過ごせる。

また、アロマキャンドルにドライフラワーや木の実などを飾りつけ、オリジナルのワックスバーを作るワークショップも開催されている。筆者も体験してみたが、なかなかステキな作品ができた（自画自賛ですみません）。

アロマワックスバー制作体験は６月19日まで。800円から（入園料別途）。予約不要で16時まで随時受け付け。所要時間30分程度

六甲高山植物園　大人（中学生以上）700円、小人（４歳～小学生）350円。通常期は10～17時（受付は30分前まで）、木曜定休。隣接する「ROKKO森の音ミュージアム」との共通チケットは割安。

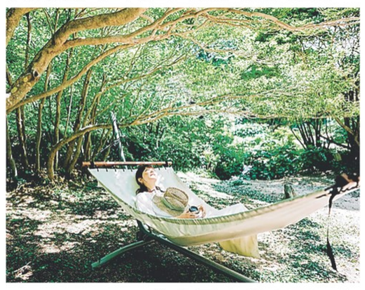
環境学部

◆樹木医イベント　木のお医者さんが伝える「木の生き方」　５月15日10～15時、神戸市立森林植物園（神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス）。木のお医者さんの活動地までガイドする技能紹介ガイドツアー（10時、11時／各回30分、各回定員40名）や木のお医者さんの活動紹介（11時40分、13時／各回20分）＝**写真**＝などがある。無料（別途入園料高校生以上300円、小・中学生150円）。雨天時は22日に順延。同園☎078・591・0253

総合学部

◆薬樹観察会「森の薬箱」～初夏編～　５月29日10時半～12時半、神戸市立森林植物園（神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス）。元神戸薬科大学薬用植物園の沖和行さんとともに園内を歩きながら、実は身近にお世話になっている植物の力について学ぶ。200円（別途入園料高校生以上300円、小・中学生150円）。定員30人。要予約。４月29日からホームページまたは電話で受け付け開始。同園☎078・591・0253

◆ハンモックカフェ　４月29日～５月５日の毎日、５月７日～６月19日の土日祝日、11～16時、六甲高山植物園ナツツバキ広場（六甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バス「高山植物園」）。木陰でハンモックに揺られながら、ゆったりとしたひと時を楽しむ＝**写真**。ドリンクやお菓子の販売もある。無料（別途入園料中学生以上700円、４歳～小学生350円。カフェ利用料別途）。同園☎078・891・1247



芸術学部

◆六甲山光のアート「Lightscape in Rokko」春バージョン「春はあけぼの」　５月31日まで、18～21時（受け付けは20時半まで）、自然体感展望台・六甲枝垂れ（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「六甲ガーデンテラス」）。1000万色以上の色彩表現ができるＬＥＤ照明が、自然光に近い光で展望台全体を覆うフレームを内側から照らし出す。伏見雅之さんによる演出で、今年のテーマ「枕草子」の春バージョン＝**写真**。夜明け頃に山の際の辺りの空が少し明るくなってだんだん白んでいき、紫がかった雲がたなびいている様子を表現する。入場料中学生以上310円、４歳～小学生210円。六甲ガーデンテラス☎078・894・2281

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU
六甲山大学・情報凝縮サイト
653daigaku.com
わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています
協賛企業
ひとのときを、想う。JT
Daiwa House®
想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
順不同
【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局　神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　E-MAIL:info-653@kobe-np.co.jp